

■ 医療政策研究会 メモ

日 時：2021年3月13日(土) 19:00-21:00

場 所：オンライン

テーマ：新型コロナの出口戦略

～ワクチンの効果と安全性、治療薬の開発、医療のキャパ向上～

発表者：國光あやのさん（衆議院議員、医師）

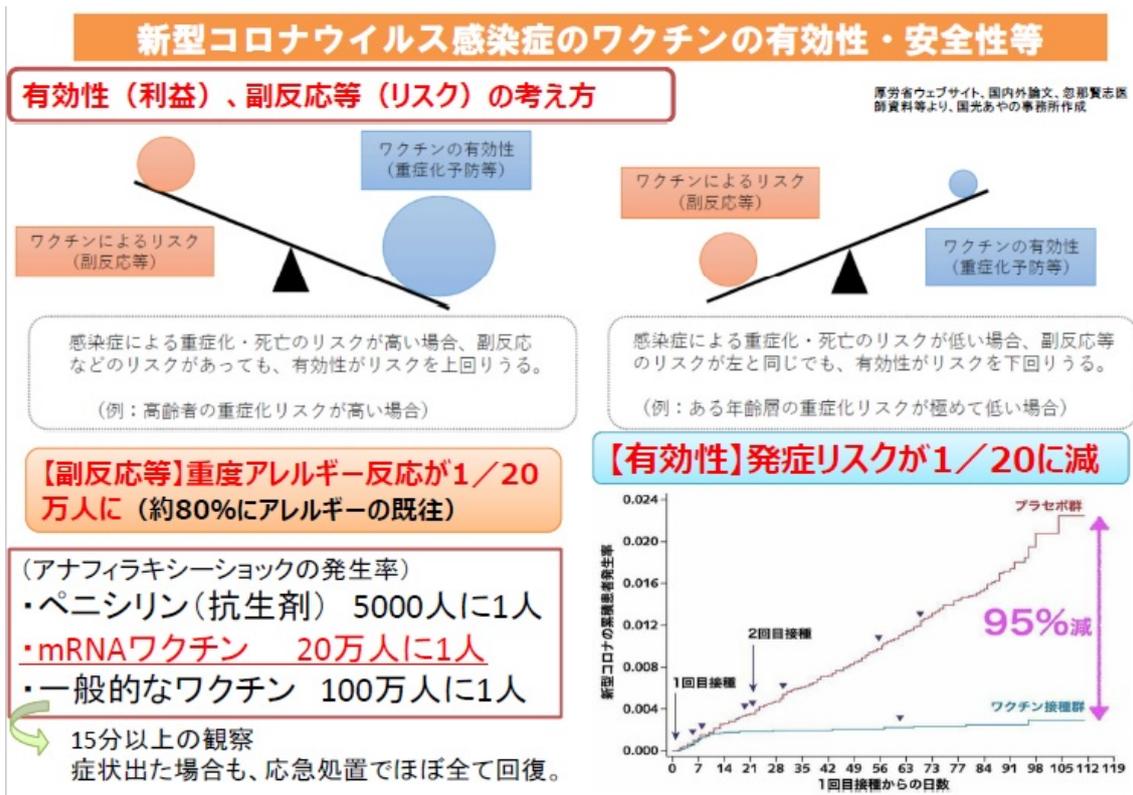
参加者：16人（財務コンサルタント、大学教員、経営者、医師、会社員、FP、ライター、  
税理士、社会保険労務士、NPO法人理事長、行政書士、司法書士等）

メモ：

- ・新型コロナの出口戦略として、ワクチンと医療のキャパ向上が挙げられました。
- ・昨年以降の医療現場における治療薬の投与などの知見の蓄積により重症化は比較的抑えられてきているとします。



- ・国会の予算委員会で使用した資料をもとに説明が行われました。数字、エビデンス、わかりやすさがポイントになります。
- ・上記資料により、①重症化率の年代比較、②重症化のリスクとなる基礎疾患、③致死率の全年齢平均について、他の疾患との比較の説明がありました。



- ・上記の資料により、④ワクチンにより発症リスクが1/20に減少すること（有効性）、⑤ワクチンの有効性（ベネフィット）と副反応等（リスク）の比較衡量が必要であること、⑥重度アレルギー反応は20万人に1人であること、また、他の抗生剤やワクチンとの比較について説明がありました。
- ・これらの説明に関して、政府によるリスクコミュニケーションが必要であることが指摘されました。

以上